

# 草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和元年度「ンチェウ県ンシペ・ヘルスセンター産科病棟建設計画」  
署名式

2020年2月10日



ナマリカ保健・人口省次官臨席のもと、贈与契約の署名を行う岩切敏大使と  
ジョセフィーヌ・ゴウェロ、ンシペ・ヘルスセンター代表



スピーチを行う岩切大使（左）と保健・人口省ナマリカ次官（右）



ナマリカ次官とンシペ・ヘルスセンター関係者

2020年2月10日（月曜日）、岩切敏大使とンシペ・ヘルスセンターのジョセフィーヌ・ゴウエロ代表は、「ンチュウ県ンシペ・ヘルスセンター産科病棟建設計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式には、ナマリカ保健・人口省次官も列席しました。

この贈与契約は、ンシペ・ヘルスセンターが産科病棟を建設するための資金、90,847米ドルを日本政府が同センターに供与するというものです。

岩切大使は、「適切な妊娠ケアが受けられないことは、妊娠中および出産中の合併症のリスクを高め、母子死亡のリスクを高めます。妊婦がプライバシーが守られた安全で清潔な施設において、安心して出産し、適切な処置および母子医療を受けて早く回復することはとても重要です。」と述べました。さらに、同ヘルスセンター職員およびプロジェクト委員に対し、本プロジェクト供与資金の慎重かつ適切な運用を通じて、妊産婦の安全のために質の高い病棟の建設を要請しました。

最後に、保健・人口省ナマリカ次官は、「保健医療は、人間の安全保障における重要優先課題の一つであり、妊産婦および新生児の死亡率軽減による健康促進および人口の質改善にマラウイ政府も取り組んでいる。マラウイの母子医療に大きく貢献する本産科病棟建設支援に対して、日本政府および国民の皆さんに感謝申し上げます。」と謝辞を述べました。